

# 企業の魅力を調査発信する 取材型インターンシップ事業

令和5年度実施分 宮古市提案事業

実施団体名：NPO法人みやっこベース

協働対象部署名：宮古市産業支援センター

実施日（期間）：2023年4月～2024年3月

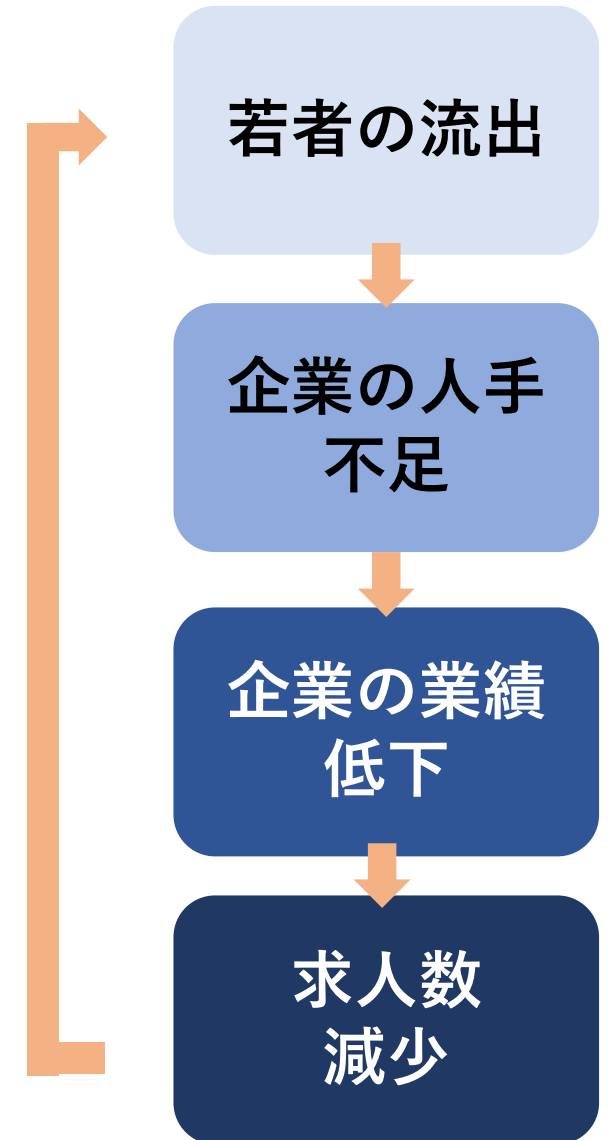
# 解決したい課題（事業のテーマ）

## ①若年人口の社会減

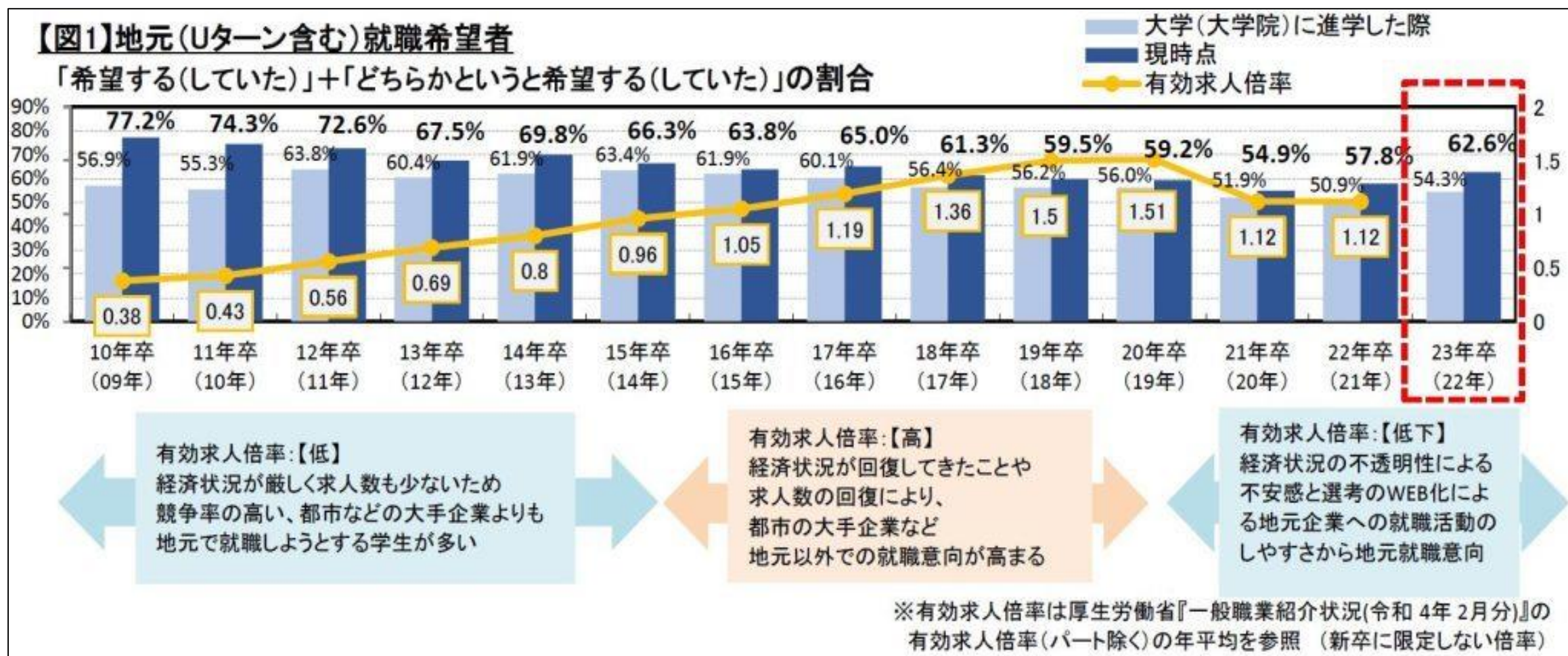
高校卒業後の進学を機に市外へ転出  
大学等卒業を機にしたUターン就職が少ない

## ②担い手不足による地域産業の衰退

人手不足で企業の業績低下  
地域内の魅力的な雇用機会減少



# 地元就職意向の高まり



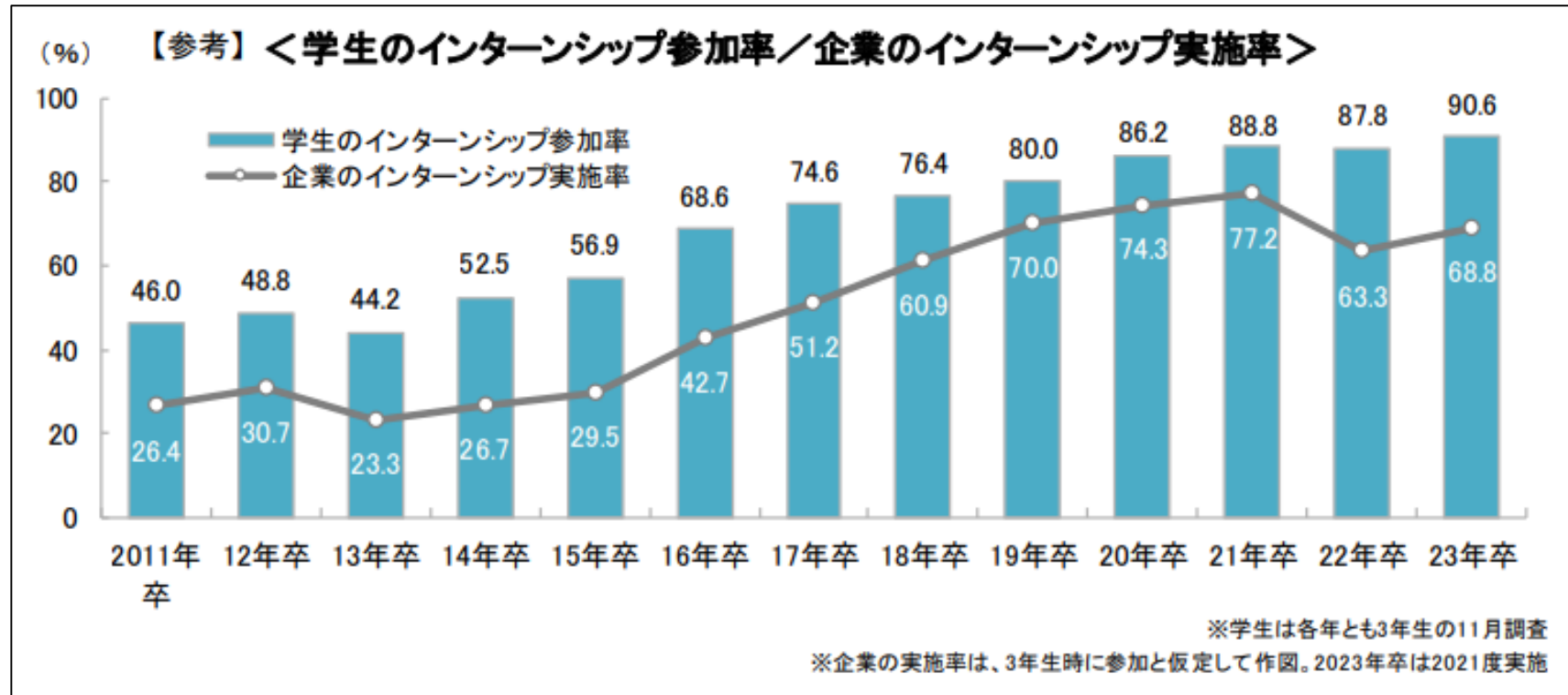
# オンライン上の企業情報不足

就職活動の情報収集として行っている・使っているものを教えてください。（複数回答可）



# 大学生のインターンシップ参加率の高さ

インターンシップとは  
学生が就業前に企業などで「就業体験」をすること



# 事業の目的

## ①プログラム設計

大学生が地域企業の魅力を調査・発信する「取材型インターン」のプログラムを設計

## ②インターン実施

地元出身の大学生に提供することで、地域の産業や企業のことを認知してもらい、地元への就職を肯定的に捉える機会を創出

## ③記事編集、アップロード

取材した企業についての情報を取りまとめて発信することで、オンライン上での地域企業の情報量を増やし、学生が地域企業の情報に触れやすい環境を整備

# ①プログラム設計

岩手県

募集終了
大学生対象
🕒 2023.6.30
👁️ 885view

## 【1week/取材型インターン】地域企業の魅力を取材し、広報に挑戦!

NPO法人みやっこベース

❗ このインターンは募集が終了しました。沢山のご応募ありがとうございました。

\ 1・2年生大歓迎 /

---

### 取材型インターン

---

@岩手県宮古市

✖ ポスト
👍 いいね! 12
🔗 シェアする
💬 いいね
B! 0
📌 Pocket { 0 }

### 地域の企業に潜入。学生視点で魅力を調査し、記事を書いて発信しよう!

インターン生は企業の魅力を伝える広報役。見学・体験・インタビューを通して、企業の魅力の調査を行ってもらいます。学生ならではの視点で記事を書き上げ、企業の魅力を伝えましょう。岩手県宮古市で初実施です!

#### 団体概要

- ① 設立 : 2013年2月
- ② 代表者名 : 早川 瞳
- ③ 従業員数 : 5名
- ④ WEB : <https://miyakkobase.org/>
- ⑤ 住所 : 岩手県宮古市末広町8-24

# 事業の成果

## ②インターン実施

### ○1期目

期間：8月27日（日）～9月1日（金）

参加者：2名

参加企業：2社

### ○2期目

期間：9月10日（日）～9月15日（金）

参加者：5名

参加企業：5社



# 事業の成果

## ②インターン実施

### 参加企業

- ・ 社会福祉法人若竹会
- ・ 宮古ホテル沢田屋
- ・ 沢与建設株式会社
- ・ 株式会社玉木屋
- ・ いわて生活協同組合
- ・ 浄土ヶ浜パークホテル
- ・ 休暇村陸中宮古

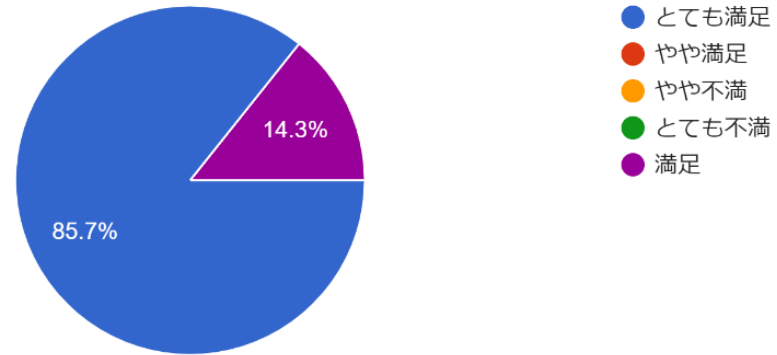
### 参加学生

- ・ 岩手県内 2名
- ・ 関東 3名
- ・ 関西 2名



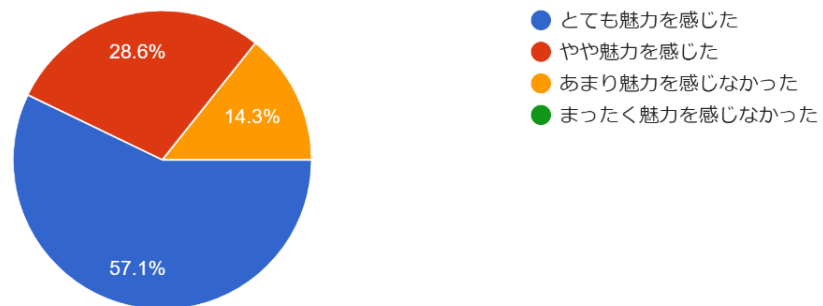
インターンシップ全体の満足度を教えてください。

7件の回答



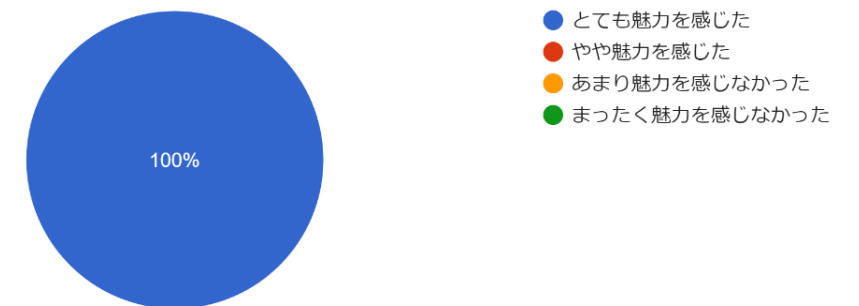
取材先企業の魅力はどの程度感じましたか？

7件の回答



宮古市の魅力はどの程度感じましたか？

7件の回答



# 事業の成果

## ③記事編集、アップロード

25本の記事作成

- ・企業紹介記事
- ・インタビュー記事

3,293回のページビュー

宮古市に欠かせないお店「スーパーマーケット玉木屋」取材記録

♡ 1

【取材担当】インテリジェンス 宮古市 2023年10月25日 15:15

▼ 目次

- 《企業紹介》
- 《インタビュー記事》

「お客様がどうしたら喜んでくれるかを常に考える」

「SNSを利用してもっと多くの人に来てもらう」

「40年以上、玉木屋の味を守り続ける」

「この地域には無くてはならない存在となった玉木屋さん」

《インタビュー記事》

「お客様がどうしたら喜んでくれるかを常に考える」

2023年現在、創業から103年目を迎える「スーパーマーケット玉木屋」は今となっては宮古市になくはない存在です。玉木屋の売りは、お惣菜の美味しさと、お客様従業員問わず意見の通りやすい職場。お惣菜は作ったものを工場から仕入れるのではなく、お店で仕入れた食材を使って毎日手作り。手作りをする事によって美味しい味を守り続けています。また、意見の通りやすい職場も魅力。お客様から要望のあった商品を仕入れたり、従業員の意見を取り入れたりしており、小規模スーパーの特徴を生かして営業されています。

《インタビュー記事》

「お客様がどうしたら喜んでくれるかを常に考える」

玉木屋を営んでいるのは寺崎さんご夫婦です。銀ヶ崎地区に店舗があった頃に正寿さんのお父様から承継。その後東日本大震災による移転を経験したことによって、地元のお客様を大事にする「スーパーマーケット玉木屋」となりました。

インタビュー全文は→こちら

「SNSを利用してもっと多くの人に来てもらう」



玉木屋のSNS

以前から新聞の折り込み広告で宣伝を行っていた玉木屋。しかし新聞の購読者数が減っている現状を目の当たりにした店長の芳子さんは「もっと多くの人に玉木屋を知って欲しい」という思いからSNSでの宣伝をスタート。もともと年齢のお客様が多い玉木屋でも、SNSを用いたことによって若い年代のお客様が少しずつ増え始めています。

インタビュー全文は→こちら

「40年以上、玉木屋の味を守り続ける」



玉木屋のお惣菜

お惣菜担当の佐々木さんは玉木屋に入ってから40年以上。長年にわたり玉木屋の味を守り続けています。

インタビュー全文は→こちら

「この地域には無くてはならない存在となった玉木屋さん」

# 事業の経費

- 収支報告書をご覧ください。

# 協働について

- 市との役割分担

産業支援センター：受入企業募集、企業とのやり取り 等

みやっこベース：プログラム企画運営、学生募集、サポート 等

- 協働したことによる効果

- ・市の事業としての信頼性から、

- 新規事業にも関わらず7社の企業、7人の学生が参加

- 新規事業としての良いスタートを切れた

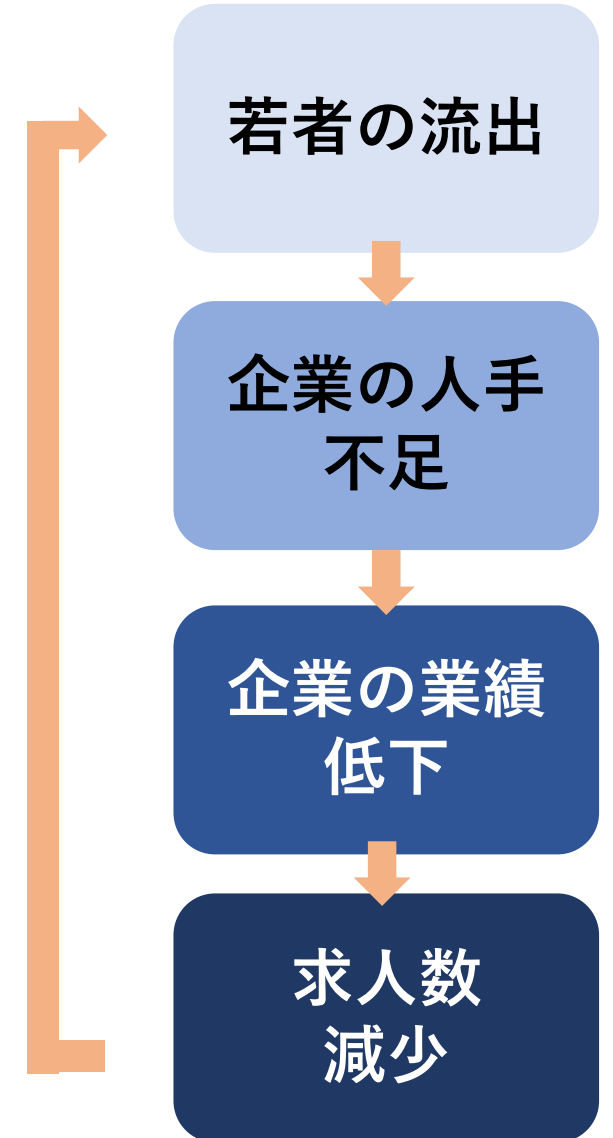
# 今後の展望について（課題再掲）

## ①若年人口の社会減

高校卒業後の進学を機に市外へ転出  
大学等卒業を機にしたUターン就職が少ない

## ②担い手不足による地域産業の衰退

人手不足で企業の業績低下  
地域内の魅力的な雇用機会減少



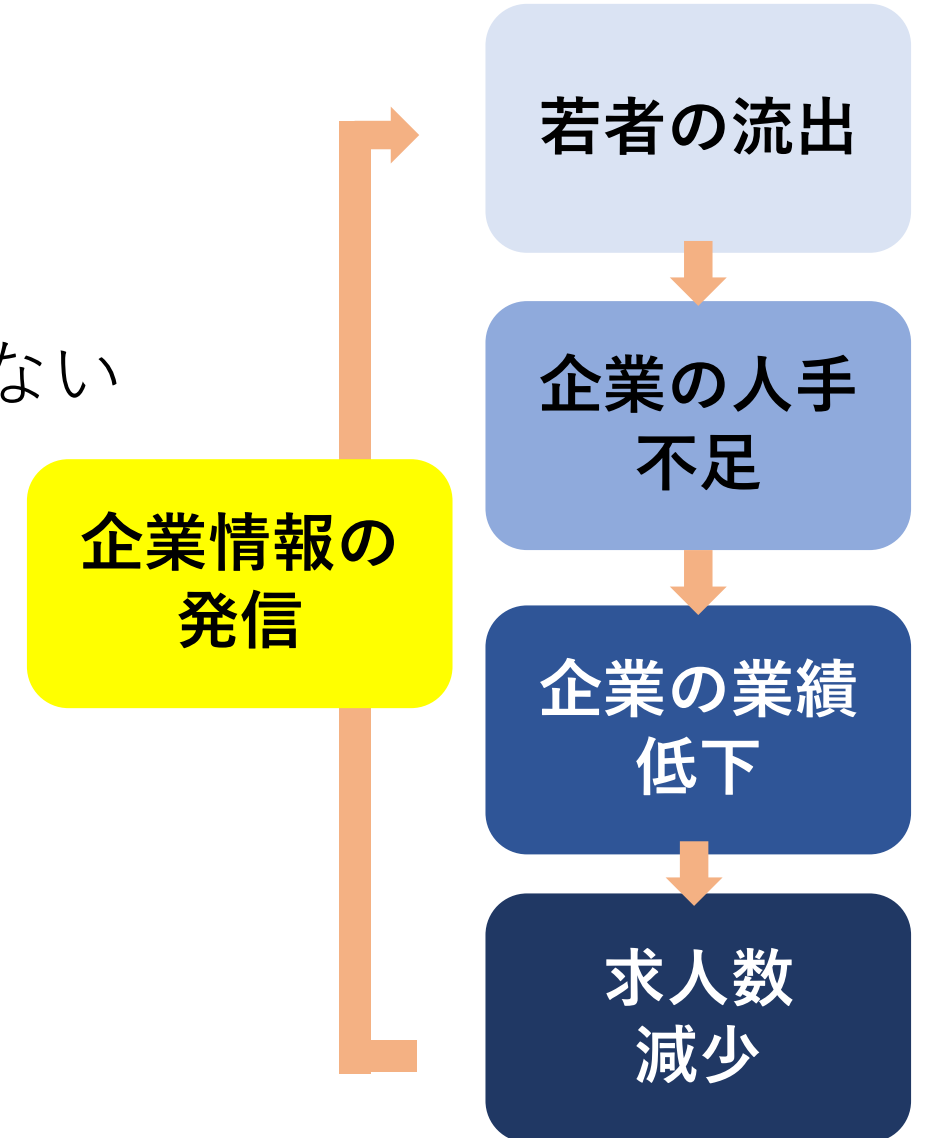
# 今後の展望について（課題再掲）

## ①若年人口の社会減

高校卒業後の進学を機に市外へ転出  
大学等卒業を機にしたUターン就職が少ない

## ②担い手不足による地域産業の衰退

人手不足で企業の業績低下  
地域内の魅力的な雇用機会減少



# 今後の展望について（課題再掲）

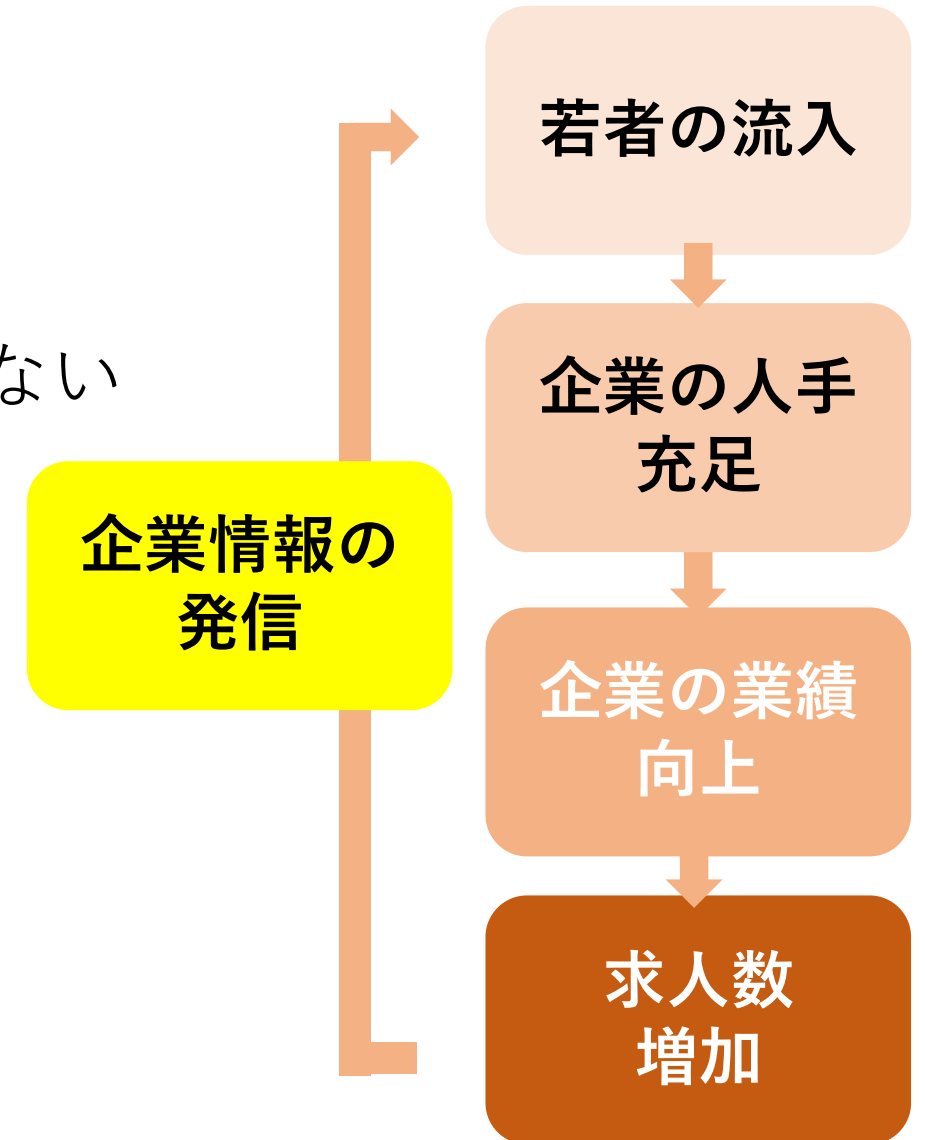
## ①若年人口の社会減

高校卒業後の進学を機に市外へ転出  
大学等卒業を機にしたUターン就職が少ない

## ②担い手不足による地域産業の衰退

人手不足で企業の業績低下  
地域内の魅力的な雇用機会減少

☆継続的な取り組みが必要



# 今後の展望について

- これからの事業について

**参加企業を増やして事業継続**

**宮古市出身の学生、宮古短大の学生の募集強化**

ご清聴ありがとうございました。

